

こども病院ひるば

編集 企画・管財係 〒420-8660 静岡市葵区漆山 860 TEL : 054-247-6251(代表) FAX : 054-247-6259

新任

副院長あいさつ

「幸せな子ども」は「幸せな地域」の礎

この度副院長を拝命しました河村です。臨床検査科科長を兼任しています。

簡単にプロフィールを紹介します。生まれは鳥取県東郡のやず八頭郡こおげ家町(現 八頭町、旧 きさいち中私都村)、育ちは同郡わかさ若桜町、出身は鳥取大学です。

1998年トロント小児病院で学んでいた時に、当院泌尿器科科長の臼井和正先生(当時)にお会いしたのがきっかけで、2004年静岡に参りました。泌尿器科医として診療を行っていましたが、先天性角膜デistroフィーによる視力の衰えのため2014年に臨床検査科に転じました。

副院長という立場を与えられ改めて思うことは以下のとおりです。

「県中部、県全体、さらに国全域を対象とする小児医療基盤充実に貢献する」

当院の患者さんは県中部の方が5割、東部が3割、西部、県外がそれぞれ1割と広い範囲からおいでになっています。当院でなければ治療できない病気や治療ができないお子さまが沢山います。当院は「静岡県小児医療の最後の砦」と自負しております。

その砦を守るために1,000人を超える人々が働いています。その方々すべての力が結集されて初めて「静岡県立こども病院」の医療が成し遂げられます。その方々を陰で支えることが私の使命と考えています。微力ですが、静岡県ならびに日本の小児医療の発展に尽くしていく所存です。

「幸せな子ども」は「幸せな地域」の礎と信じます。診療所の先生方、病院の先生方をはじめとして多くの皆様にそれを成し遂げるためのお知恵をお借りしなくてはなりません。折々にご相談をお掛けすると思います。その節は何卒よろしくお願い申し上げます。

副院長 河村秀樹



新任

事務部長あいさつ

初めまして。今年度から事務部長を務めます山本です。3月までは静岡県庁職員として安心して子供を生み育てられる静岡県を目指し、少子化対策や保育環境の整備に取り組んでまいりました。

今回、こども病院の一員として、地域の宝である子供達の医療に関わることができて光栄に存じます。

当院は、279病床、29診療科を有するこども専門の総合病院です。近年では、小児がん拠点病院として治療を進めるとともに、相談室を開設し、お子様や御家族の悩みにお応えしています。また、お子様の将来を見据え、成人医療機関へのスムーズな移行を目指す「移行期医療」にも注力しているところです。

今後、地域の医療機関の皆様に御協力、また、連携をいただきながら、治療を必要とされる患者の皆様から信頼されるような病院でありたいと思います。私も事務部長として皆様方に御指導いただきながら、精進してまいります。よろしくお願いいたします。

事務部長 山本 智ひろ



新任

看護部長あいさつ

平素より大変お世話になっております。令和3年4月より看護部長を拝命いたしました美濃部晴美と申します。

昭和58年より30年以上小児看護に携わり様々な部署での経験をさせていただきました。治療の甲斐なくこどもが亡くなるなど辛いこともたくさんありましたが、それ以上に、退院時のこどもの笑顔、家族の一員として、その子らしく成長できている姿を見て、小児看護としてのやりがいを強く感じ、自分にできることは何かを考え実践してきました。

「こどもの生命と権利を尊重し、こどもの心身の健康と成長・発達を支援します」を看護部理念として、看護職員はこども達またそのご家族に向き合い看護を実践しています。社会情勢の変化の中、家族のニーズが多様化しています。チーム医療において、看護の専門性を発揮し看護師としての倫理観、主体性を持って行動できる自律した看護師の育成に努め、様々な変化に柔軟に対応し、人が育つ風通しの良い看護部を目指したいと思います。

今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

看護部長 美濃部晴美



新任常勤医師紹介

産科医師

新屋 光央



2021年4月より静岡県立こども病院周産母子医療センター産科に勤務させて頂いております新谷光央(しんやみつひさ)と申します。出身は神奈川県ですが、鹿児島大学へ入学し卒後もそのまま鹿児島に留まり鹿児島大学産科婦人科学講座へ入局致しました。長らく鹿児島で過ごしてまいりましたが、周産期医療に携わる中、家族支援を含めた胎児診断学・胎児診療に強く想いを抱くようになり、こども病院という環境の中で周産期医療を担うことに憧れを頂きこの度赴任させて頂いた次第です。胎児診断学、胎児心臓病学を特に専門としております。静岡県の周産期医療に貢献できるよう努力してまいる所存です。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

形成外科医師

桑原 広輔



令和3年4月に赴任しました桑原と申します。出身は富士宮市です。20年弱ぶりに静岡に帰ってくることができとても嬉しく思っております。これまでは大学医局の派遣にて全国各地で、主に熱傷、顔面・四肢外傷の急性期治療、それらの後遺症の再建を中心に診療しておりました。4年ほど前にご縁あって国立成育医療研究センターに国内留学する機会に恵まれ、以降は体表先天異常の治療に興味を持ち勉強しております。診療においてはまだまだ未熟者ですが、地元静岡の医療に貢献できるよう一生懸命がんばります。

小児集中科治療科

大井 正



4月から集中治療科で働かせて頂いています大井正と申します。

静岡県出身で実家は焼津市にあります。同じ市内の静岡市立静岡病院で小児科人生をスタートさせて頂き、小児科後期研修中に静岡こども病院のNICU・PICU・血液腫瘍科で短期間の研修をさせて頂きました。その時のPICUで集中治療の面白さに魅かれ、その後成育医療研究センターPICUで研修後この静岡こども病院へ来させて頂きました。自分自身まだまだ発展途上でこの病院で勉強させて頂くと同時に静岡の小児医療に少しでも貢献できればと思っております。顔が怖いとよく言われますが小心者で、名前も字画数が少ないので覚えて頂ければと思います。宜しくお願い致します。

お世話になりました。

○令和2年度末常勤医師退職者（9名）

西口富三（副院長）、金沢貴保（小児集中治療科医長）、相賀咲央莉（小児集中理療科医長）、
林勇佑（小児集中治療科医長）、中澤祐介（新生児科医長）、齊藤佑弥（循環器集中治療科医師）、
山田進（小児外科医師）、中村壮臣（整形外科医師）、藏菌侑人（形成外科副医長）



今年度、看護部は新たに35人の仲間を迎えました。

フレッシュな感性を磨き、看護力向上に努めていきたいと考えています。

新人さん達は、1年間オレンジのネームフォルダーストラップを使用しています。笑顔がより一層輝きますよう、成長を暖かくご支援くださることをお願いいたします。



入退院支援室をリニューアルしました

2019年10月に入退院支援室の業務を開始いたしました。
部分的に試行開始し、徐々に業務量を増やして参りました。

2020年6月にはほぼすべての診療科の入院支援業務を行っています。



入退院支援室の業務の大きなものは以下の通りです。

入院に係る業務のワンストップソリューション

1. 入院に係る説明をひとつの部署で：患者さんは一カ所に行けばすべて済む

患者さんからの情報聞き取り、全般的な入院説明、各診療科別の資料説明、手術に関するオリエンテーション、入院時支援療養支援計画書作成を行います。患者さんには入院前から、安心して治療に取り組めるよう、イメージづくりの手助けを行っています。これらの取り組みが、入院直ぐからスムーズな治療・看護の提供に繋がるよう問診、説明に力を入れています。

2. 食事に係る問題点をひとつの部署：栄養管理室が入院前から介入

アレルギー、治療上注意すべき食べ物、食事形態（発達遅れ）、摂食訓練中などの情報があると管理栄養士が患者さんと面接します。

入院中の食事に入院前から対応、食事の安全を図り、食事の満足度を高めるよう努めています。

3. 薬剤に係る問題点をひとつの部署で：薬剤室が入院前から介入

薬剤アレルギー、中止薬・持参薬があれば薬剤師が面接し、主治医との連絡を行います。入院中の薬剤使用の安全性を高めるよう努めています。



開設当初は地域医療連携室の一角を間借りして、業務を行っていました。2021年3月上旬にアメニティー広場奥にひと区画を頂き、心新たに業務を行っています。

今後は退院支援を一層進めます。入院の前から退院後を見据え、支援早期開始し、安心して退院後の生活へ移行できるよう、病棟、外来、地元医療・介護施設を結び付けるよう努めて参ります。

入退院支援室長 河村秀樹

令和3年4月の人事異動により、職員の採用・退職・転入・転出がありました。

表 役職別主要医師一覧（診療科長以上）注：「*」は兼務を示す。 変更箇所は赤字になっております。 R3.4.1現在

役職等	氏名	役職等	氏名	役職等	氏名
院長	坂本 喜三郎	移植センター長	漆原 直人*	内分泌代謝科長	上松 あゆ美*
副院長	田中 靖彦	輸血・細胞治療センター長	堀越 泰雄	腎臓内科長	北山 浩嗣*
副院長	猪飼 秋夫	小児がんセンター長	渡邊 健一郎*	免疫アレルギー科長	目黒 敬章*
副院長	漆原 直人	ゲノム医療センター長	清水 健司	神経科長	松林 朋子*
副院長	河村 秀樹	IVRセンター長	金 成海	循環器科長	田中 靖彦*
医療安全部長	田中 靖彦*	【室長】		不整脈内科長	芳本 潤
医療連携部長	猪飼 秋夫*	医療安全管理室長	田中 靖彦*	小児集中治療科長	川崎 達也*
情報管理部長	河村 秀樹*	感染対策室長	荘司 貴代	皮膚科長	—
救急総合診療・地域医療部	河村 秀樹*	地域医療連携室長	北山 浩嗣	放射線科長	小山 雅司*
器官病態系内科診療部	渡邊 健一郎	入退院支援室長	河村 秀樹*	臨床検査科長	河村 秀樹*
外科系診療部長	奥山 克巳	国際交流室長	坂本 喜三郎*	小児外科長	漆原 直人*
こころの診療部長	大石 聡*	ボランティア活動支援室長	上松 あゆ美	消化器外科長	漆原 直人*
診療支援部長	田代 弦	診療情報管理室長	河村 秀樹*	呼吸器外科長	福本 弘二*
【センター長】		診療画像管理室長	小山 雅司	心臓血管外科長	猪飼 秋夫*
周産期母子医療センター長	中野 玲二	ITシステム管理室長	芳本 潤*	循環器集中治療科長	元野 憲作(科長代行)
循環器センター長	田中 靖彦*	輸血管理室長	堀越 泰雄*	脳神経外科長	田代 弦*
集中治療センター長	川崎 達也	臨床工学室長	福本 弘二	整形外科長	滝川 一晴*
小児救急センター長	唐木 克二	成育支援室長	溝渕 雅巳	形成外科長	加持 秀明*
チーム医療推進センター長	田代 弦	リハビリテーション室長	真野 浩志*	眼科長	—
移行期医療支援センター長	猪飼 秋夫*	心理療法室長	大石 聡*	耳鼻いんこう科長	橋本 亜矢子
予防接種センター長	松林 朋子	中央滅菌材料室長	田代 弦*	泌尿器科長	濱野 敦
患者相談センター長	目黒 敬章	【診療科長】		産科長	河村 隆一
臨床研究支援センター長	渡邊 健一郎*	総合診療科長	関根 裕司*	歯科長	加藤 光剛
総合診療センター長	関根 裕司*	小児感染症科長	荘司 貴代*	麻酔科長	奥山 克巳*
研修推進センター長	関根 裕司*	小児救急科長	唐木 克二*	病理診断科長	岩淵 英人
成人移行・診療センター長	満下 紀恵	小児内科長	勝又 元	リハビリテーション科長	真野 浩志*
血友病診療センター長	小倉 妙美	新生児科長	中野 玲二*	こころの診療科長	大石 聡*
脊椎診療センター長	滝川 一晴	血液腫瘍科長	渡邊 健一郎*	発達小児科長	溝渕 雅巳*
頭蓋顔面・口蓋センター長	加持 秀明	血液凝固科長	堀越 泰雄*		
リハビリテーションセンター長	真野 浩志	遺伝染色体科長	清水 健司*		

読者の皆様からの質問等を受け付けています

〒420-8660 静岡県立こども病院 企画・管財係「ひろば読者投稿」係

☎：054-247-6251（代） Fax：054-247-6259 e-mail：kodomo-keiei@shizuoka-pho.jp

編集後記

こども病院の新たな取り組みを皆さまに知って頂けるよう、今後も知恵を絞って参ります。至らぬ点多いかと存じます。いつでもご意見、ご質問、ご要望をお寄せ下さい。

（医療サービス・広報委員会委員長 河村秀樹）